木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書

（令和２年度実施事業）

令和４年２月

木津川市教育委員会

目　次

Ⅰ．はじめに　1

Ⅱ．教育委員会の活動状況　4

Ⅲ．教育委員会の施策と取組内容
重点目標１　質の高い学力をはぐくむ　１０
重点目標２　豊かな心と規範意識をはぐくむ　１３
重点目標３　健やかな体をはぐくむ　１８
重点目標４　一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ　２２
重点目標５　社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ　２８
重点目標６　魅力ある・信頼される学校・園をつくる　３２
重点目標７　地域の力を活かして子どもをはぐくむ　３５
重点目標８　地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ　４３

Ⅳ．資料　４６

Ⅴ．有識者総評　５２

Ⅰ．はじめに

１．趣旨

木津川市では、まちづくりの基本的な施策の方針をまとめた第１次木津川市総合計画後期基本計画を平成２６年３月に策定し、平成３０年度までの施策として、７つの基本方針を示し「水・緑・歴史が薫る文化創造都市」の実現に向けて取り組んでまいりました。現在は、平成３１年３月に第２次木津川市総合計画を策定し「子どもの笑顔が未来に続く　幸せ実感都市　木津川」をまちの将来像と定め、実現に向けて取り組んでおります。

令和２年度の教育委員会が所管する事務事業については、第２次木津川市総合計画に基づき、基本方針１に「ともに『学び』『喜び』『成長し』未来を生きる子どもを育むまちづくり」として、「子育てするなら木津川市」といわれるまちを目指し、誰もが安心して子どもを生み育てられるよう、地域の力を結集して子育て支援を進めるとともに、次代を担う子どもたちが個性や能力を伸ばしながら、たくましく生きることができる教育・保育環境を整備し、未来を生きる子どもを育むまちづくりを施策の主要目標としています。

基本方針２では「誰もが生き生きと、生涯元気で暮らせるまちづくり」の中で、市民一人ひとりが心豊かに暮らせるよう、年齢に関係なく学び、スポーツを楽しむことができるまちづくりを進めることを主要目標の一つとしています。

また基本方針３「一人ひとりが認め合い、力を発揮できるまちづくり」では、性別や国籍、価値観の違いを問わず、多様性を尊重しながら健やかに暮らせる環境づくりを、そして基本方針４では「人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり」として、豊かな自然や長年培われてきた歴史文化など豊富な地域資源を大切に守りながら活用し、観光やまちづくりに活かすことで、市の魅力を高め、活力と賑わいを生み出し、未来を拓くまちづくりを主要目標の中に掲げています。

学校教育においては、「木津川市教育振興基本計画」を平成２６年３月に策定し、「生きる力をはぐくみ、新しい時代を拓く“きづがわっ子”を目指して」を基本理念とし、「子どもの力を伸ばし、未来に向かって生きる力をはぐくむ」、「一人一人が輝き、社会の一員としての基盤をはぐくむ」、「木津川市の力を結集し、みんなで守りはぐくむ」ことを目標として取り組んでまいりました。現在は、平成３１年３月に中間見直しを行い「木津川市教育振興基本計画（後期）」を策定し、新たな教育課題にも対応し、更なる教育の充実に努めています。

社会教育においては、「木津川市生涯学習推進計画」を平成２６年３月に策定し、基本的人権の尊重を基盤として心豊かでうるおいのある社会の実現のため、社会の様々な教育機能を有機的に関連付け、人生の各時期に応じた多様な学習機会の提供や

自発的な学習活動の支援など市民が生涯にわたって学び続けることのできる学習環境の総合的な整備・充実を促進し、地域の特性を生かした生涯学習の振興に努めています。さらに、同和問題など様々な人権問題についての学習活動の推進を図り、住民が相互にかかわる中であらゆる差別を許さない社会の実現を目指しています。そのために学校や他の行政機関・関係団体及び地域住民との連携を密にし、相互の連携を強めながらＮＰＯなど民間における取組も視野に入れた教育活動の企画・推進を図っています。

文化財の保護においては、「木津川市文化財保存活用基本計画」を平成２８年３月に策定し、「歴史的文化的遺産の保全と活用」、「市民との連携による歴史学習の推進と文化財の公開」、「水・緑・歴史のネットワークづくり」に取り組んでいます。また、平成３０年度からは、木津川市歴史文化基本構想を４年計画で策定するために市内の有形・無形文化財の現状調査を実施していますが、文化財保護法改正に伴い、令和２年度からは文化財保存活用地域計画の作成に移行して事業を進めています。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行いその結果に関する報告書を作成して議会に提出するとともに公表することと定められています。

昨年度の報告書からは、教育委員会の所管する事業内容の評価に主眼を置くように様式を改訂し、市の総合計画に掲げられたまちづくりの基本方針及び目指すべき教育の実現に向けて、現時点での成果と課題を整理し、今後の教育目標を明確にするべく、教育委員会が所管する施策、取組内容を自己点検及び評価しました。

２．点検評価の対象及び方法

点検評価は、「木津川市教育振興基本計画（後期）」に沿って、令和２年度の教育委員会の施策や取組内容について、実施状況や事業費を前年度と比較し、重点目標ごとに自己点検及び評価を行いました。

その結果を「成果と課題」に整理し、今後の見通しを明確にするため「今後の方向性」としてまとめました。

なお、本報告書の作成にあたっては、有識者として三浦孝啓氏から助言をいただきました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律　〈抜粋〉

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

資料

「木津川市教育振興基本計画（後期）」

「木津川市生涯学習推進計画」

「木津川市文化財保存活用基本計画」

令和２年度学校教育の重点

令和２年度社会教育の重点

令和２年度全国学力・学習状況調査結果

Ⅱ. 教育委員会の活動状況　（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

1. 教育委員について

市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長、4人の委員で構成されています。

令和2年度　木津川市教育委員会教育長及び委員

役　職　名	氏　　名	備　　考
教　　育　　長	森 永 重 治	
教育長職務代理者	有 賀 やよい	
委　　員	小 松 信 夫	
委　　員	高 橋 史 代	
委　　員	佐 脇 貞 憲	

2. 教育委員会の開催状況

令和2年度教育委員会会議開催状況一覧

No.	件　名	開　催　日
1	第 4回定例会	令和2年 4月21日
2	第 2回臨時会	令和2年 5月20日
3	第 5回定例会	令和2年 5月28日
4	第 6回定例会	令和2年 6月25日
5	第 3回臨時会	令和2年 7月10日
6	第 7回定例会	令和2年 8月 3日
7	第 8回定例会	令和2年 8月28日
8	第 4回臨時会	令和2年 9月 8日
9	第 5回臨時会	令和2年 9月25日
10	第 9回定例会	令和2年10月 8日
11	第10回定例会	令和2年11月 5日
12	第11回定例会	令和2年11月26日
13	第 6回臨時会	令和2年12月10日
14	第12回定例会	令和2年12月25日
15	第 1回定例会	令和3年 1月28日
16	第 2回定例会	令和3年 2月22日
17	第 1回臨時会	令和3年 2月26日
18	第 3回定例会	令和3年 3月30日

【第4回定例会　令和2年4月21日】

○議　事

議案第19号　木津川市社会教育委員の委嘱について

議案第20号　木津川市公民館運営審議会委員の委嘱について

報告第　1号　木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程の一部改正について

○その他

(1)令和2年第1回木津川市議会定例会　会派代表質問、一般質問及び答弁について(3月議会)

(2)木津川市小谷教育集会所条例の一部改正について

(3)木津川市学校施設等長寿命化計画について

(4)城山台小学校児童数急増対策について

(5)新型コロナウィルス感染症対策に関する申し入れ等について

(6)新型コロナウィルス感染拡大防止対策に係る学校対応について

【第2回臨時会　令和2年5月20日】

○議　事

議案第21号　城山台小学校校舎増築工事（Ⅰ期）請負契約の締結について

【第5回定例会　令和2年5月28日】

○議　事

議案第22号　令和2年度木津川市一般会計補正予算第3号について

議案第23号　木津川市立学校評議員の委嘱について

議案第24号　木津川市立幼稚園評議員の委嘱について

議案第25号　木津川市小谷教育集会所条例の一部改正について

○その他

(1)城山台小学校児童急増対策について

(2)新型コロナウィルス感染症対策に関する申し入れ等について

(3)双方向型通信の実現に向けて

(4)新型コロナウィルス感染拡大防止対策に係る学校等対応について

(5)その他(陳情書の受理について)

【第6回定例会　令和2年6月25日】

○陳　情(陳　述)

感染症拡大防止対策のため、城山台小学校「過大規模校」の解消を求める陳情書について

○議　事

議案第26号　木津川市立小学校の特定地域における学校選択に関する要綱の制定について

議案第27号　木津川市歴史文化基本構想策定委員会委員の委嘱について

議案第28号　木津川市小谷教育集会所条例施行規則の一部改正について

議案第29号　木津川市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について

報告第　2号　木津川市立中学校部活動指導員の任用等に関する規則の廃止及び要領の制定について

○その他

(1)新型コロナウィルス感染症対策に関する申し入れ等について

【第3回臨時会　令和2年7月10日】

○議　事

議案第30号　令和２年度木津川市一般会計補正予算第５号について

【第7回定例会　令和2年8月3日】

○議　事

議案第31号　木津川市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

報告第　3号　木津川市育英資金の交付状況等について

○その他

(1)令和2年第2回木津川市議会定例会　一般質問及び答弁について(6月議会)

【第8回定例会　令和2年8月28日】

○議　事

議案第32号　令和3年度以降使用中学校教科用図書の採択について

議案第33号　令和2年度木津川市一般会計補正予算第6号について

議案第34号　可動式教育用コンピュータ整備事業に係る契約の締結について

議案第35号　木津川市立小学校及び中学校ハラスメントの防止に関する要綱の一部改正に係る臨時代理について

議案第36号　木津川市立幼稚園規則の一部改正について

○その他

(1)令和2年度木津川市立学校給食センター運営委員会の報告について

(2)図書館における自主学習の在り方について

(3)要望書等について

【第4回臨時会　令和2年9月８日】

○議　事

議案第37号　城山台小学校管理備品（家具・インテリア）の買入れについて

議案第38号　中型バスの買入れについて

承認第　1号　議会上程議案の取り下げについて

議案第39号　可動式教育用コンピュータ整備事業の契約の締結について

【第5回臨時会　令和2年9月25日】

○議　事

議案第40号　木津川市遠距離通学費補助金交付要綱の一部改正について

【第9回定例会　令和2年10月８日】

○議　事

報告第　4号　木津川市立小学校及び中学校ハラスメントの防止に関する要綱の一部改正について

○その他

（1）令和2年第3回木津川市議会定例会　一般質問及び答弁について（9月議会）

（2）令和2年度第1回いじめ調査結果について

（3）城山台小学校児童急増対策について

（4）要望書等について

【第10回定例会　令和2年11月５日】

○議　事

な し

○その他

（1）木津川市立小中学校の在り方検討について

【第11回定例会　令和2年11月26日】

○議　事

議案第41号　令和2年度木津川市一般会計補正予算第8号について

【第6回臨時会　令和2年12月10日】

○議　事

議案第42号　令和２年度木津川市一般会計補正予算第９号について

【第12回定例会　令和2年12月25日】

○議　事

議案第43号　木津川市通級指導実施要綱の制定について

議案第44号　木津川市育英資金交付規則の一部改正について

議案第45号　木津川市立小学校及び中学校ハラスメントの防止に関する要綱の一部改正について

○その他

(1)令和2年第4回木津川市議会定例会　一般質問及び答弁について(12月議会)

【第1回定例会　令和3年1月28日】

○議　事

議案第　1号　木津川市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について

議案第　2号　木津川市立小中学校共同学校事務室運営規程の制定について

○その他

(1)木津川市立学校給食センターの給食会計統合について

(2)就学前子どものための教育・保育施設の状況について

(3)新型コロナウィルス感染症対策に係る対応について

(4)令和2年度第2回いじめ調査結果について(秘密会)

【第2回定例会　令和3年2月22日】

○議　事

議案第　3号　木津川市立小学校及び中学校の在り方検討委員会条例の制定について

議案第　4号　令和3年度木津川市一般会計当初予算について

議案第　5号　令和2年度木津川市一般会計補正予算第11号について

議案第　6号　木津川市立幼稚園預かり保育事業実施要綱の一部改正について

議案第　7号　木津川市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書(令和元年度実施事業)について

○その他

(1)令和3年度3歳児保育の実施内容について

(2)新型コロナウイルス感染症の拡大防止と市民生活を守る申し入れについて

【第1回臨時会　令和3年2月26日】

○議　事

議案第　8号　令和３年度木津川市立小・中学校管理職人事について

【第3回定例会　令和3年3月30日】

○議　事

議案第　9号　木津川市学校運営協議会規則の制定について

議案第10号　木津川市教育委員会規則の一部改正について

議案第11号　木津川市教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則の制定について

議案第12号　木津川市教育委員会告示で定める申請書等の押印の特例に関する告示の制定について

議案第13号　木津川市立の小学校及び中学校に勤務する府費負担教職員の服務に関する規程及び木津川市立学校職員旧姓使用取扱要綱の一部を改正する訓令の制定について

議案第14号　木津川市立学校給食センター物資調達要綱の一部改正について

議案第15号　木津川市社会教育委員の委嘱について

議案第16号　木津川市公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第17号　木津川市スポーツ推進委員の委嘱について

○その他

(1)令和3年第1回木津川市議会定例会　会派代表質問、一般質問及び答弁について(3月議会)

(2)図書館における新型コロナウィルス感染拡大防止対策の取組について

(3)令和3年度学校教育の重点について

(4)令和3年度社会教育の重点について

(5)木津川市立小中学校の在り方検討委員会条例にかかる討論及び付帯決議について(議会報告)

3. 教育委員会の活動状況

令和2年度　研修等参加状況

開催日	件　名	開催場所
令和2年 5月	山城地方教育委員会連絡協議会定期総会	書面開催
5月	京都府市町村教育委員会連合会定期総会	書面開催
5月	近畿都市教育長協議会定期総会	書面開催
令和3年 1月	相楽地方教育委員会連絡協議会 教育長・教育長職務代理者合同会議	書面開催

Ⅲ. 教育委員会の施策と取組内容

重点目標１　質の高い学力をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(1) 学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣の確立
　① 木津川市ならではの「わかる授業の創造」
　② 幼・小・中連携の推進

(2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
　③ すべての子どもの学力の向上

(3) 活用する力の育成
　④ 思考力・判断力・表現力等の育成

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>学びに向かう力、人間性等の涵養と学習習慣の確立</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>○木津川市立小・中学校学力充実・向上推進会議の開催
・『質の高い教育』の創造を目指し、教育委員会と学校とが連携して協議・交流・研修する。

▶実施状況　(回)
<table>
<tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和２年度</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>4</td><td>2</td></tr>
</table>
▶推進委員構成　(人)
<table>
<tr><td>小学校教職員</td><td>１３</td></tr>
<tr><td>中学校教職員</td><td>5</td></tr>
<tr><td>学 校 教 育 課</td><td>4</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>学校教育課</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>基礎的・基本的な知識・技能の習得</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>○ホップアップ学習（小学校補充学習）
・学習意欲の向上や学習習慣の確立及び基礎学力の充実のための補充学習を実施。令和元年度までは対象を３年生から６年生としていたが、令和２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための学校休業対応等による学習保障を行うため、全学年に拡大するとともに、補充時間や講師数を増加し、学習指導の充実を図った。

▶実施状況
<table>
<tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和２年度</td></tr>
<tr><td>実 施 校 数</td><td>１３</td><td>１３</td></tr>
<tr><td>の べ 時 間 数</td><td>１，０４１</td><td>４，８３７</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
ホップアップ学習事業費	１，５６２	７，２５６

〇ステップアップ学習（中学校補充学習）

・中学校１年生から３年生を対象として、学習意欲の向上や学習習慣の確立及び基礎学力の充実のための補充学習を実施。

▶実施状況

	令和元年度	令和２年度
実　施　校　数	５	５
の べ 時 間 数	４３６	２９０

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
ステップアップ学習事業費	６５４	４３５

〇木津川市小学校統一学力診断テスト

・客観的な学力の把握と、分析に基づく教科指導並びに授業改善を図るため、小学２年生から５年生を対象とし、国語科及び算数科、５年生は理科を加えた学力診断テストを実施。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
受　験　者　数	３，６０４	３，５３３

担 当 課	学校教育課

取 組 名	活用する力の育成
取組内容	〇学びの深化プロジェクト ・城山台小学校では平成２７年度から①思考ツールを活用した協働的な学びによる児童の論理的思考力の向上②教職員の授業スキルの向上と研究体制を軸とした学校組織の活性化に取り組んできた。令和元年度からは、京都府教育委員会の研究指定「学びの深化プロジェクト事業」を受け、学力の向上に向けた深化・発展を目指し研究を推進した。教職員の主体性を尊重した研究グループを編成することで教職員間の学び合う風土の醸成にもつながっている。 令和３年２月に研究のまとめとリーフレットを発行し、それをもとに発表した。
担 当 課	学校教育課

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
学びの深化プロジェクト実　施　校　事　業　費	１５９	１８０

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎全国、府の学力調査については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施が中止されたが、提供された問題を活用して、各校において独自に実施した。市の小・中学校学力充実・向上推進会議において、実施した各学力調査の結果分析を共通理解し、各校での具体的な取組に生かすことができた。 ◎本市独自の小学校統一学力テスト等の実施・検証により、学力向上を図る具体の方策を検討・実践し 、加えて市独自の補充学習の取組もあり、着実な学力の向上につなぐことができた。 ◎城山台小学校が取り組んでいる「学びの深化プロジェクト」（最終年度）により、授業等での思考ツールの効果的な活用が実践され、授業公開や研究冊子等を通じて、市内各校へ成果の普及がなされた。 【課題】 ◎家庭学習において、学校の授業以外に１日２時間以上勉強すると答えた割合が、全国平均を上回る傾向は続いているが、30 分に満たない家庭学習時間の児童生徒の割合が一定程度あり、各学校で「家庭学習の手引き」等、保護者への啓発も含め、宿題の工夫など、家庭学習の習慣化への取組を今後も継続する必要がある。

今　後　の　方　向　性
◎子どもの実態を的確に把握し、個別のニーズに応じた適切な指導・支援を行なうとともに、互いに支え、協力し合う学びの集団を基盤とした「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組み、基礎的・基本的な知識及び技能の定着と思考力・判断力・表現力等の育成を目指す。

重点目標２　豊かな心と規範意識をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(4) 道徳教育の推進

① 道徳教育の推進体制の充実

② よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成

③ 地域の力を活かした学習活動や体験活動の充実

(5) 生徒指導の充実

④ 社会の一員として持つべき規範意識やコミュニケーション能力の育成

⑤ いじめ等の問題行動に対する迅速な対応及び未然防止に向けた取組の教化

⑥ 不登校をはじめとする諸問題に対する相談体制の充実

⑦ 地域社会との連携

(6) 読書活動の推進

⑧ 就学前から読書に親しむ活動の推進

⑨ 学校での読書活動の推進

■主な取組実績

取 組 名	道徳教育の推進
取組内容	○各中学校区あいさつ運動の実施 ・各中学校区において、地域住民と児童生徒が、あいさつ運動を通じて、心のふれあいと人と人との深い信頼関係を構築するためのコミュニケーション能力の育成を目指す。 ○日々の取組 ・日々の学校での活動の中で、規範意識の向上や個性の伸長に向け繰り返し指導している。 ・朝の会や終わりの会を身近な道徳的実践の場とする。 ・クラブ活動でのマナー向上に向けた指導 ・教科書改訂に伴う指導計画や授業内容及び評価の見直しを実施
担 当 課	学校教育課

取 組 名	生徒指導の充実

取組内容

○カウンセリングルームの設置

・中央図書館で週 2 回、心身ともに健全な児童生徒の育成のために、臨床心理士が相談活動を実施。

▶開設状況　(日)

	令和元年度	令和２年度
開所日数（のべ）	９７	９４

▶事業費　(千円)

	令和元年度	令和２年度
カウンセリングルーム設置事業費	３，７５５	３，９７６

○心の教育相談員の配置

・心身ともに健全な生徒の育成のために、生徒等の様々な相談に応じる心の教育相談員を木津第二、木津南、山城中学校に各 1 人を配置（木津、泉川中学校には府のまなび生活アドバイザーを配置）。

▶実施状況　(日)

	令和元年度	令和２年度
配置日数（のべ）	３７７	３５２

▶事業費　(千円)

	令和元年度	令和２年度
心の教育相談員設置事業費	１，２７５	１，１４５

○スクールカウンセラーの配置

・悩みを持つ児童生徒の不安を和らげ、充実した学校生活が送れるよう、府費によるスクールカウンセラーの巡回派遣のみとなっている小学校（木津小学校、相楽小学校、城山台小学校、加茂小学校、南加茂台小学校、恭仁小学校、上狛小学校、棚倉小学校）に市費で臨床心理士を配置（各校４週に１回）。

▶実施状況　(時間)

	令和元年度	令和２年度
のべ配置時間数	７０１	７１８

▶事業費　(千円)

	令和元年度	令和２年度
スクールカウンセラー設置事業費	３，５０５	３，５８６

○適応指導教室の開設

・心理的な要因により登校の困難な児童生徒を対象とした不登校対策。

・適応指導教室を教育支援センターと位置付け、不登校を中心とした児童生徒への支援を推進した。また、京都府教育委員会委託事業「学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究」を受け、別室指導援助等を行った。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
登　録　人　数	２５	２１

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
適応指導教室事業費	１１，２６１	１９，３３９

〇魅力ある学校づくり調査研究事業

・不登校を未然に防ぐため、児童生徒にとって魅力的な学校づくりのための取組を行った。
・市内全小中学校での児童生徒の意識調査を実施。それを基に「居場所」「絆」「基盤」づくりを各校で検討・実施し、学校の活性化を図る取組を実施した。
・この事業についての教職員の理解を深めるため啓発パンフレットを５回作成、配布した。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
魅力ある学校づくり調査研究事業費	４１５	２６６

〇いじめ防止等対策

・木津川市いじめ防止等対策委員会事業、各校のいじめ防止対策委員会による組織的な指導体制を確立し、全ての児童生徒に対してアンケートと教育相談を実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。

▶実施状況　（回）

	令和元年度	令和２年度
委員会開催回数	2	2

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
いじめ防止等対策委員会事業費	３７５	４７０

担当課	学校教育課

取組名	読書活動の推進
取組内容	〇としょかんスタートセットの配布 ・小学校１年生に「としょかんスタートセット」を配付し、児童の図書館利用を促進。 ▶実施状況　（人） 令和元年度：配布数　８９６ 令和２年度：配布数　９６０

○朝読書・昼読書の実施
・すべての学校で、常に児童生徒の身近に本を置き、朝読書や昼読書の取組を組織的、継続的に実施。

○学校司書の配置
・学校司書を中心とした学校図書での読書活動を推進。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
図書館司書配置数	9	9

＊１人が２校を担当

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
学校教育事務事業費（学校司書人件費）	１４，８２８	１９，５１８

○木津川市子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）の推進
・家庭、地域、保育園・幼稚園との連携のもと、就学前から子どもが読書活動に親しむ態度を培う。
・小中学校においては、読書活動を教育活動の中に適切に位置付け、児童生徒の読解力、表現力の向上を図ることにより「ことばの力」の育成に努める。

○学校図書館情報化・活性化推進
・図書館システムを利用することで貸出し・返却事務を利便化し児童生徒の図書館利用を促進する。

▶実施状況　（年度末現在：冊）

	令和元年度	令和２年度
学校図書蔵書数	１４４，４５７	１５１，９８４

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
学校図書館情報化・活性化推進事業費	４，９９０	４，６９６

担当課	学校教育課、社会教育課

取　組　の　成　果　と　課　題

【成果】
◎発達段階に応じた道徳科を中心とした効果的な指導と評価についての実践的な交流、研究を通して、よりよく生きる基盤となる道徳性の育成につなげた。
◎スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーなど相談員の配置及び充実と、より積極的な活用及び適応指導教室による児童生徒への支援を推進することで、不登校をはじめとする学校不適応などに対する相談体制を充実した。
◎「魅力ある学校づくり調査研究事業」を実施したことで、新規の不登校生徒数が抑制され「未然防止」の施策として有効であった。
◎コロナ禍による学校図書館の閉鎖時期があったが、学校司書による適切な学校図書館の準備により、利用再開後の読書活動への取組が滞りなく行え、蜜を避けて児童生徒が学校図書館で過ごす時間が保障された。

【課題】
◎いじめ問題への対応の充実と発達の段階をより一層踏まえた体系的なものに改善する必要がある。
◎不登校児童生徒に対する様々な取組を進めているが、不登校児童生徒数の減少には至っていない。今後もより一層の取組強化が必要である。
◎学校の授業以外で読書をする割合が、全国平均を下回っている状況が続く。
読書が、「ことばの力」をはぐくむ直接的な取組であり、学力の基盤になる部分であることを鑑みて、朝読書等の読書活動の継続強化を図るとともに、本に親しむ取組をより活発に進める必要がある。

今　後　の　方　向　性

◎組織的・計画的な生徒指導を推進し個々の子どもの発達段階を踏まえた個別最適化を目指す指導や支援を行うことで、共生社会の一員としての規範意識の醸成や個性の伸長 、コミュニケーション能力の育成を図っていく。
特に不登校対策については教育機会の保障の観点からＩＣＴ活用も踏まえた長期的な支援も視野に入れた対策を進める。
読書活動は、子どもの言語力と創造力等を高め、深い情緒をはぐくむ上でも社会全体でその推進を図っていくことが重要であり、木津川市子どもの読書活動推進計画（第二次推進計画）の見直しを図り第三次推進計画の策定につなげ、「ことばの力」を豊かにはぐくむ読書活動をより一層推進する。

重点目標３　健やかな体をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(7) 食育の推進
　① 健やかな体づくりの支援
　② 望ましい食文化の継承と地産地消の推進
　③ 安心・安全な学校給食の実施

(8) 体力の向上
　④ データに基づく児童生徒の体力向上
　⑤ 体育的行事や部活動の充実

(9) 健康の保持増進
　⑥ 喫煙、飲酒、薬物乱用等の防止教育
　⑦ 家庭と連携した生活習慣の確立
　⑧ 学校保健・保健管理の充実

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>食育の推進</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○木津川市食育推進委員会

▶実施状況　(回)
<table>
<tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和２年度</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>１３</td><td>３</td></tr>
</table>
＊令和元年度は、新給食センターの発足に向けた協議を含む

○５分間スタディの実施
・市内全小中学校で、学年に応じたテーマを設定し、食に関する５分間の学習を学期に１回程度実施。子どもたちの学習内容を保護者にも情報共有している。

○栄養教諭による出前授業の実施

▶実施状況　(回)
<table>
<tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和２年度</td></tr>
<tr><td>開 催 回 数</td><td>１５</td><td>１８</td></tr>
</table>

○学校給食におけるアレルギー対応
・令和２年度より新たに「学校等における食物アレルギー対応マニュアル」を作成し、市として統一したアレルギー対応として、卵、乳、小麦、えび、かにの 5 品目について、除去食・代替食対応を行っている。
</td></tr>
</table>

▶アレルギー対応者数　（人）

	平成元年度	令和２年度
木津学校給食センター	９９	１５１
加茂学校給食センター	５４	
山城学校給食センター	１４	

＊令和元年度はセンターにより基準が異なる
＊令和２年度から統一した基準のため２センターの合計数

○給食の地産地消の推進
・地元産食材を使った郷土食や伝統料理等の食文化を継承し、栄養バランスが取れ、子どもの健全な成長を促すとともに、ふるさとの農業・食文化への興味付けを行う。

▶実施状況　（%）

	令和元年度	令和２年度
地産地消率	１４．２	１６．７

＊該当食材数/1日に使用する食材数

○学校給食センター概要
・これまでの３センター運営から、令和２年度より２センター運営となり、安心・安全・安定供給の体制を整え、統一献立を実施している。

▶受配校と提供児童・生徒人数　（人）

	第一学校給食センター	第二学校給食センター
受配校	木津・木津第二・山城中学校 木津・相楽・高の原・相楽台・木津川台・梅美台・城山台・上狛・棚倉小学校 木津・相楽・高の原幼稚園 １２校３園	木津南・泉川中学校 州見台・加茂・恭仁・南加茂台小学校 ６校
児童・生徒人数	５，８６７	２，２３９
喫食延べ人数	１，０１４，１９２	３９６，２５１

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
事業費	２８８，３８０	４０８，６２２

＊（仮称）新学校給食センター建設事業費除く

担当課	学校教育課

取 組 名	体力の向上
取組内容	○中学校部活動外部指導者 ・学校部活動支援のため、学校の実態に応じた外部人材を配置する。 ▶実施状況 令和元年度　令和２年度 配置校数　３校　３校 配置人数　４人　４人 ○中学校部活動指導員 ・学校部活動を支援するとともに、教職員の働き方改革を進める。 ▶実施状況 令和元年度　令和２年度 配置校数　１校　２校 配置人数　１人　２人 ○木津川市立中学校運動部活動連携事業 ・市立中学校における運動部活動の活性化と生徒の運動能力・体力の向上を図るため、在籍校に希望する運動部がなくても、市内の他校の運動部に参加できる事業を継続する。
担 当 課	学校教育課

取 組 名	健康の保持増進
取組内容	○木津川市学校保健会連絡協議会 ・健康で望ましい生活習慣の確立を図る。 ○オリンピック・パラリンピック教育の実施 ・京都府の委託を受けた推進指定校が多様なスポーツを体験し、親しむことで児童生徒一人ひとりのスポーツ志向の高まりを期待するとともに、自他を尊重し、社会に貢献しようとする心やボランティアマインドを養い、共生社会を築くための障害者理解を身につける。 ▶実施状況　(校) 令和元年度　令和２年度 実施校数　4　4 ▶事業費　(千円) 令和元年度　令和２年度 オリンピック・パラリンピック教育推進事業費　３５９　３４３

担 当 課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎新学校給食衛生管理基準に適合した新学校給食センターが完成し、令和２年度から本格稼働した。 ◎給食をはじめとする学校生活における食の安全を守るためアレルギー対応マニュアルを作成し、統一した対応を行っている。 ◎運動部活動指導方針に基づき、適切で充実した部活動が実施できた。 また、地域人材と顧問等が適切に連携した実技指導と助言により、運動部活動の活性化と適切な指導体制の構築を図った。 ◎健康に関する現代的な課題に適切に対応するために、校種間の連携や各種関係機関と連携により、健康の保持増進に努める力の育成を図った。 【課題】 ◎地元産食材を学校給食に取り入れるための体制づくりが必要。 ◎児童生徒の体力テスト等の結果に基づく運動能力の状況を踏まえた取組や授業改善を引き続き推進していく。 ◎学校・園、家庭、地域との連携のもと、基本的な生活習慣の確立に向けた取組をさらに推進していく。

今　後　の　方　向　性
◎地元産食材を使った郷土や伝統料理等の食文化を継承し、栄養バランスがとれ、子どもの健全な成長を促す「おいしく、安心・安全で魅力ある学校給食」を目指す。また、ふるさとの農業・食文化に関心が持てるよう学校・園における食に関する指導を充実する。 ◎安心・安全な学校給食等を実施するため、作成した学校等における食物アレルギー対応マニュアルをもとに教職員の研修を推進する。 ◎体力を培う学校体育の充実と中学校部活動の充実を図る。 ◎小中学校教育研究会と連携し、体力テスト等の結果集計・分析に基づく運動能力の状況を踏まえた取組や授業改善を推進する。 ◎喫煙や飲酒、大麻使用、薬物乱用等の防止教育を進め、生涯に渡って健康の保持増進に努める能力の育成を図る。

重点目標４　一人一人の個性や能力を伸ばし、社会の形成者としての必要な資質をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(10) 人権教育の推進
　① 人権感覚をはぐくむ学習環境の創造
　② 共生の態度の育成
　③ 校種間・家庭・地域・関係機関との連携

(11) 特別支援教育の推進
　④ ニーズに応じた支援の推進・相談体制の充実
　⑤ ユニバーサルデザインの視点・多様な学びの場

(12) キャリア教育の推進
　⑥ 将来を見通した系統的な教育の推進
　⑦ 進路指導相談体制の充実

(13) 幼児期の教育の推進
　⑧ 人格形成の基礎を培う幼児期の教育の充実
　⑨ 幼少連携の推進
　⑩ 家庭教育における子育て支援

(14) 経済的に困難な環境にある子どもへの支援の充実
　⑪ 子どもが置かれている環境の改善を図る取組の充実
　⑫ 児童生徒の学習支援の充実
　⑬ 保護者への経済的支援の充実

■主な取組実績

取 組 名	人権教育の推進
取組内容	○木津川市人権教育研究会 ・あらゆる教育活動を通して総合的に人権教育を推進する中で、一人一人を大切にして教育・保育の推進を図り、校種間連携のもとに様々な人権問題について正しい理解と認識の基礎と自他を尊重する態度や実践力の育成に向けた積極的な取り組みを進める。 ・令和２年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、研究会は参加者を限定して実施、各学校で DVD の視聴研修など工夫して研究・研修に取り組んだ。
担 当 課	学校教育課

取 組 名	特別支援教育の推進

取組内容

○相談支援ファイルの作成と活用

・個別の指導計画や個別の教育支援計画の作成と取組を進め、生涯にわたる一貫した支援のために「相談支援ファイル」を活用し、適切な支援を継続させる。

○教育支援委員会による支援

・特別な教育的支援を必要とする幼児・児童の小中学校への進学について保護者との相談及び専門家からの意見聴取などを行い、適切な就学を支援する。

▶実施状況　(回)

	令和元年度	令和２年度
支援委員会開催回数	5	5

▶事業費　(千円)

	令和元年度	令和２年度
教育支援委員会事業費	５３２	４５

○特別支援教育支援員の配置

▶実施状況　（5月1日現在）

	令和元年度	令和２年度
特別支援学級数（小学校）	３５	３９
特別支援学級数（中学校）	１０	１４
要支援児童数	１２３	１５６
要支援生徒数	４１	５２

▶事業費　(人、千円)

	令和元年度	令和２年度
特別支援教育支援員数	２７	２７
学校教育事務事業費（特別支援教育支援員人件費）	２３，４７２	２５，１５７

○通級指導教室の開設

・言語、聴覚等に障がいのある児童に早期の改善・克服を目指し指導を行う。

・令和２年１１月に相楽地方通級指導教室を解散し、市通級指導教室（６教室）に再編した。

▶実施状況　(人)

	令和元年度	令和２年度
通級指導終了（児童）	４６	４３
通級指導終了（生徒）	１１	１１

担 当 課	学校教育課

取 組 名	キャリア教育の推進
取組内容	○仕事・文化体験活動の実施 ・児童生徒が仕事・文化体験学習を行い、様々な経験を通して豊かな心を育てることを目的とする。 ▶実施状況　(校) 令和元年度　令和２年度 実　施　校　数　１７　１４ ▶事業費　(千円) 令和元年度　令和２年度 「KYO 発見　仕事・文化体験活動」推進事業費　９７２　４９４
担 当 課	学校教育課

取 組 名	幼児期の教育の推進

取組内容

○公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業

・幼稚園や保育園等の幼児が小学校入学後の生活習慣に早期に対応できるように各小学校が実施する体験入学や交流会に必要な物品等を購入する。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
入学予定者数	８９６	８２８
事業参加幼児数	８５０	７８５

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
推進事業費	８９８	４２６

＊R1　「もうすぐ１年生」体験入学推進事業費
R2　公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業費

○市立幼稚園の運営

・教育目標を達成するため、一人ひとりの個性や能力を伸ばし生きる力を培う幼児教育の質の向上を図る。

《教育目標》
やさしさ・豊かさ・たくましさをもった子どもの育成

▶実施状況　（5月１日現在：人）

	令和元年度	令和２年度
木津幼稚園園児数	１５６	１５７
相楽幼稚園園児数	９４	９５
高の原幼稚園園児数	１４８	１３４

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
木津幼稚園管理事業費	６，１９３	６，１６７
相楽幼稚園管理事業費	５，４９８	５，００７
高の原幼稚園管理事業費	６，３０８	５，８６９

担 当 課	学校教育課、こども宝課

取 組 名	経済的に困難な環境にある子どもへの支援の充実
取組内容	○就学援助費の支給 ・経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者および特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、児童・生徒に平等な教育の機会を与えることを目的に援助を行った。 ・熊本地震被災児童に対する就学支援を支出した。 ・令和２年度は国の支給単価の見直しに準じて支給単価の改正を行った。 【小学校】 ・就学援助費の対象者は６８９人（要保護児童３５人、準要保護児童６５４人）、このうち６５７人（要保護児童３人、準要保護児童６５４人）に対して支給した。 ・就学奨励費の対象者は１１２人、このうち９９人に対して支給した。 ・令和３年度新入学児童７５人に対し学用品費を入学前支給した。 【中学校】 ・就学援助費の対象者は３４１人（要保護生徒１５人、準要保護生徒３２６人）、このうち３２６人（準要保護生徒３２６人）に対して支給した。 ・就学奨励費の対象者は４０人、このうち３３人に対して支給した。 ・令和３年度新入学生徒１１８人に対し学用品費を入学前支給した。 ▶事業費　（千円） （令和元年度 / 令和２年度） 就学援助事業費（小学校）　４７，１９９　１０８，６１７ 就学援助事業費（中学校）　３９，４１０　６８，２０９
担 当 課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎特別な教育的支援を必要とする幼児・児童の状況を踏まえた就学相談を、委員はもとより関係機関等と連携し、保護者の意見を踏まえて適切な就学先の決定を行うことができた。 ◎通常学級における配慮を必要とする児童・生徒一人一人の教育的ニーズに基づき、特別支援教育支援員が個別の支援を行うことにより、個々の児童・生徒の学力向上や心の安定等を図ることできた。 ◎通常の学級における配慮を要する児童に対して、通級指導教室での指導により、個々の発達課題の克服に取り組むことができた。 【課題】 ◎特別な支援を要する幼児・児童・生徒への必要な支援を行うとともに、適切な就修学に努める。 ◎特別な教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒の一貫した支援を図るため保幼こども園小中の連携をさらに密にし、今後も生涯にわたる切れ目のない支援を充実する。 ◎特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が増加傾向にあり、個別での支援充実のための対応が必要である。

今　後　の　方　向　性
◎個々の子どもの発達課題や実態を細やかに把握し、関係機関との連携の中で必要な指導・支援を行うことにより、一人一人の社会的自立を図ることができる能力を育成する。

重点目標５　社会の変化に対応し、未来を確かに生きる力をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(15) 情報教育の推進
　①　ＩＣＴ活用能力の育成
　②　情報モラルの育成
　③　ＩＣＴ教育の研究体制等の充実

(16) グローバル化に対応できる人材の育成
　④　多文化共生教育の推進
　⑤　国際交流事業の推進

(17) 環境教育の推進
　⑥　環境を保全する力の育成

■主な取組実績

取 組 名	情報教育の推進
取組内容	○木津川市情報教育研究会 ・情報教育を推進する組織を軸とした研究・指導体制の充実を図る。 ・教職員研修を充実し、ICT スキルの向上と情報モラル教育の充実を進める。 ○ＩＣＴ教育の推進 ・児童生徒一人ひとりの学力向上を目指して、より分かりやすい授業、子どもたちの学習への興味や関心を高める授業を効果的に実施するため、ＩＣＴ機器やデジタル教材等を活用した学習活動を推進する。 ▶実施状況 ・電子黒板等のＩＣＴ機器は、平成３０年度までに小中学校の全普通教室及び特別支援教室に整備。以降クラス数増加対応分を整備していく。 ・中学校の教科書改訂に伴い、デジタル教科書を整備。 ・令和元年度に引き続き小学校７校、中学校２校の学習用パソコン、校務用パソコンをリース契約により更新した。 ・国のＧＩＧＡスクール構想に基づき、校内ネットワーク、タブレット充電保管庫、児童生徒１人一台のタブレット型パソコンを整備。児童生徒一人一人に個別最適化された学びの実現を目指し、ハード面での整備を行った。

▶事業費　(千円)

	令和元年度	令和２年度
ＩＣＴ教育推進事業費	４０，９５２	３８，８１２
可動式教育用コンピュータ整備事業費	１０，６３０	１５７，５４４
パソコン教室事業費	２０，３６７	―

○ＩＣＴ支援員の配置
・ＩＣＴ機器やデジタル教科書を使用した授業を円滑に進めるため、動画の作成や動作不良対応などの教員のサポートを行う。

▶実施状況

	令和元年度	令和２年度
配置校数	１８	１８
配置人数	7	7

担当課	学校教育課

取組名	グローバル化に対応できる人材の育成

取組内容

○国際理解教育の推進
・外国語指導助手（ＡＬＴ）や小学校英語指導講師（ＪＴＥ）を効果的に活用し、児童生徒が生きた英語に触れることにより英語力を高めたり、国際理解を深める。

（ＡＬＴ）
▶実施状況　(時間)

	令和元年度	令和２年度
語学指導助手授業数	１，１７９	５８２

▶事業費　(千円)

	令和元年度	令和２年度
語学指導助手招致事業費	１，６９９	１１，４６０

（ＪＴＥ）
▶実施状況　(人)

	令和元年度	令和２年度
配置人数	4	3

▶事業費　(千円)

	令和元年度	令和２年度
学校教育事務事業費（ＪＴＥ人件費）	３，７７１	３，７７２

<table>
<tr><td></td><td>○中学生海外派遣事業
・友好都市であるサンタモニカ市との交流事業において、中学生が国際交流を行い、コミュニケーション能力や国際感覚を磨く取組を推進する。令和２年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。

▶事業費　（千円）
<table><tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和２年度</td></tr><tr><td>国際交流協会補助金</td><td>３，８１２</td><td>１６７</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>学校教育課、社会教育課</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>環境教育の推進</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>○環境を保全する力の育成
・地域と連携した環境学習や環境保全のための自発的な活動の交流を図り、取組を充実させながら、組織的・計画的な環境教育を推進する
・市内の環境に関連する施設や地域の企業などを活用した、体験的な環境教育の取組を推進する
・地球温暖化防止の具体的な取組を通して意識を向上させ、地球的規模での環境保全に目を向けた教育を推進する
・小・中・高・大学との連携による環境学習や取組を推進する</td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>学校教育課</td></tr>
</table>

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎全教室に ICT 機器を整備し、小中学校における授業での活用が進んでいる。 ◎ICT 支援員の全校配置により、活用が進むにつれて増加する機器トラブルや、活用場面に応じた機器操作に関する課題に対応できている。 ◎国により打ち出された GIGA スクール構想を踏まえ、タブレット型パソコン端末の一人一台の整備を計画的に実施していくことができた。 【課題】 ◎教員及び児童生徒がパソコン端末によるネットワークへの接続をすることから、校内ネットワークの高速化を図る必要がある。 ◎一人一台端末となったことを踏まえ、教職員の ICT スキルの向上と授業における利活用の推進を図る必要がある。

今　後　の　方　向　性
◎新たな情報化社会の到来に適切に対応するため、ICT 機器をコミュニケーションのツールとして適切に活用することにより、情報活用能力の育成を図り、対話的な学びを目指す。 ◎ICT 機器を活用した教育を推進することで、身近な地域の課題から地球規模の環境破壊に至るまで、幅広い視点で課題解決を考える学習を設定するなどの工夫をし、グローバルに活躍できる人材の育成を目指す。

重点目標６　魅力ある・信頼される学校・園をつくる

■施策の基本的方向と取組内容

(18) 学校・園の組織力と教職員の資質向上

① 学校・園の組織力の向上

② 教師の資質・能力の向上

③ 教職員の健康管理

(19) 魅力ある学校・園づくり

④ 特色ある学校・園づくり

⑤ 情報発信する学校・園づくり

⑥ 協働・参画による学校・園づくり

(20) 安全・安心なよりよい教育環境の整備

⑦ 危機管理体制の確立

⑧ 実践的な防犯・交通安全教育の推進

⑨ 計画的な教育施設の整備

■主な取組実績

取 組 名	学校・園の組織力と教職員の資質向上
取組内容	○木津川市初任者・新規採用者研修 ・指導主事による授業参観と個別指導を通して、授業力の向上と服務等も含めた資質能力の向上を図る。 ○働き方改革の取組 ・職員の勤怠管理をＩＣカードでシステム化することにより、勤務時間を見える化し、勤務実態の把握や適正な勤務時間の指導を行っている。 ・学校ごとに「ノー残業デー」を設定 ・校務支援システムを活用し、事務の効率化を図っている。 ・取り組みを通して職員の意識改革を図っている。
担 当 課	学校教育課

取 組 名	魅力ある学校・園づくり
取組内容	○特色ある学校づくり ・当該学校、児童、生徒及び地域実態、特性を活かした特色ある教育活動への積極的な取組みを推進する学校の教育活動の一層の充実を図ることを目的として、平成２３年度から各学校からの事業提案型で実施している。 ▶実施状況 指　定　課　題　２校 特色を活かした研究課題　１３校 ▶事業費　（千円） 特色のある学校づくり推進事業費　令和元年度　１，０００　令和２年度　９１７
担 当 課	学校教育課

取 組 名	安全・安心なよりよい教育環境の整備
取組内容	○施設管理事業 ・城山台小学校児童急増対策として、校舎を増築（Ｉ期）し、体育館増築等の設計を業務委託した。 ・小中学校トイレ洋式化及び体育館多目的トイレの整備を実施し、トイレ洋式化率は全ての学校で概ね５０％以上となった。また、全ての体育館に多目的トイレの整備が完了した。 ・木津南中学校の教職員数増加にともない、職員室の拡張改修を行った。 ▶事業費　（千円） 事務局費　令和元年度　７３，１０７　令和２年度　１６１，８６０ 小学校費　令和元年度　２２１，５５４　令和２年度　２４３，８６４ 中学校費　令和元年度　７０，６８６　令和２年度　６５，９３６ ○通学路の定期的な安全点検 ○木津川市通学路安全推進会議 ・地域やＰＴＡから要望される通学路における安全対策要望箇所について、関係機関が一堂に会し要望箇所の合同点検を実施し、対処工事等を行い、通学路の安全性向上に取組む。
担 当 課	学校教育課

取　組　の　成　果　と　課　題
【成果】 ◎教職員の出退勤時間を IC カードで管理することで、在校時間が明確になり教職員の勤怠管理がしやすくなった。また、職員の意識改革にもつながり、在校時間が削減された。 ◎各校で決めたテーマに沿って、重点的に研究や実践に取り組むことで各校の特色づくりができている。 ◎市の初任者等研修を通じて、初任者等の授業力の課題と具体的な改善点が明確になり、その後の指導力の向上につながった。また、服務についても具体的に指導ができた。 【課題】 ◎特色ある学校づくり事業として、各校の実態を踏まえた計画により事業内容を選定しているが、新学習指導要領に対応した独自の取り組みや、より各校の特色がでる事業となるよう適切な支援を推進する。

今　後　の　方　向　性
◎教育施設の長寿命化計画に基づき、コストを抑えながら効果的に施設管理していく。 ◎本市においては、今後も教職員の初任者が増えることが予想され、初任者研修は今以上に重要になると考える。また、市学力充実・向上会議を中心に、先進地での学びを活かして、学力向上に係る新たな視点を明らかにし、市全体の教員の資質能力の向上を目指す取り組みを推進する。

重点目標７　地域の力を活かして子どもをはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容

(21) 社会総がかりによる子育て支援
　①　地域の教育力を活かした教育環境の整備
　②　子どもの安心・安全な居場所づくり

(22) 家庭教育の支援
　③　親の学びの支援と相談・サポート体制の充実
　④　保護者への経済的支援

(23) 生涯学習環境の充実
　⑤　生涯にわたる豊かな学びのサポート

(24) 安全対策の充実
　⑥　安全対策の充実

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>社会総がかりによる子育て支援</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○青少年健全育成
・青少年の健全育成活動を促進し、次代を担う社会の形成者として豊かな人間性を育むため、各種関係団体との連携を密にして「木津川市小学生ソフトボール大会」など健全育成事業の実施や、団体活動の支援を行う。令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。
▶実施状況
<table>
<tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和２年度</td></tr>
<tr><td>青少年育成委員会事業参加者数</td><td>１，３０７人</td><td>０人</td></tr>
<tr><td>地域子ども会補助金交付件数</td><td>６４件</td><td>６０件</td></tr>
</table>
▶事業費　(千円)
<table>
<tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和２年度</td></tr>
<tr><td>青少年健全育成事業費</td><td>２，９５４</td><td>１，３８９</td></tr>
</table>
○京のまなび教室事業の推進
・小学校区単位で、放課後や土・日曜日における子どもの活動を支援するため、諸活動における安全確保や遊び・学習活動のコーディネートなどを行う。放課後や休日の子どもたちと地域の交流の場となるよう、放課後子ども教室等を実施している。
・木津川市子ども・子育て支援事業計画に基づき、一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を令和元年度までに５０％整備することを目指し、令和元年度末において、８教室を開設している。令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全教室中止とした。
</td></tr>
</table>

▶実施状況（活動回数）

	令和元年度	令和２年度
相楽台小学校	３５回	新型コロナウイルス感染拡大防止のため全教室中止
高の原小学校	２６回	
棚倉小学校	９回	
南加茂台公民館	７４回	
南加茂台小学校	１０回	
木津小学校	６回	
城山台小学校	８回	
上狛小学校	４回	

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
京の学び教室推進事業費	２，３７８	３７１

○地域で支える学校教育推進事業

・中学校区単位で、学校教育活動に地域の力を活用するため、学校の要望内容と地域の力をコーディネートする。平成２５年度から、市内５中学校区に具体的な学校支援を協議する地域学校協働本部（旧学校支援地域本部）を設置し、地域コーディネーターを中心として、地域のボランティアとともに学校支援を実施している。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
地域コーディネーター活動人数	１１	１１

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
地域で支える学校教育推進事業費	１，４９３	１，１５８

担当課	社会教育課

取組名	家庭教育の支援
取組内容	○公立幼稚園バス使用料減免措置 ・公立幼稚園バス使用料減免

▶実施状況　（人、千円）

	令和元年度	令和２年度
対象人数	７	１３
減免額	９７	１３４

○育英資金の交付

・教育のために役立ててほしいと寄せられた寄附金からなる育英資金交付基金を財源として、寄附者の意思を反映させるため、高等学校または高等専門学校等の入学生に対し、修学のための援助を行った。高等学校等在学中で負担が大きいと考えられる１年生のみを対象とし、１人当たり 30,000 円を交付した。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
育英資金交付人数	７７	７６

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
育英資金交付事業費	２，３１０	２，２８０

○通学費補助金の交付

・遠距離通学児童の通学費負担軽減を図るため交付。
対象児童は１７人。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
補助金交付人数	１５	１７

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和元年度
安全対策事業費	２５８	２９４

担当課	学校教育課、こども宝課

取組名	生涯学習環境の充実
取組内容	○社会教育委員会活動 ・社会教育委員会、専門部会で社会教育関連事業について調査研究を行った。京都府・近畿・全国社会教育研究大会等の研修会が、新型コロナウイルス感染症拡大により、中止等で参加できなかったため、映像等を通しての研鑽に努めた。

▶実施状況　（回）

	令和元年度	令和２年度
委員会開催回数	5	6
専門部会開催回数	１０	3

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
社会教育委員事業費	３４７	８７１

○高齢者教育

・自ら興味や関心を持って学ぼうとする意欲を高めることによって、高齢者の「自立」と「つながり」を一層深めるため、高齢者のニーズを踏まえた学習課題を設定し、生涯学習の推進を図るため、生きがい大学を実施。
令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
入学者数	５７５	0

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
高齢者教育事業費	４，３１４	６７

○障害者教育

・視覚障害者及び聴覚障害者の自立や地域住民の社会参加を促進するための学習機会を提供し、地域を基盤とした共生社会の実現を目指すため、関係団体と連携して社会教育研修会を実施した。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
研修会参加者数	４９	１１

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
障害者教育事業費	１２３	0

○少年少女合唱団の育成

・山城少年少女合唱団、加茂少年少女合唱団、木津少年少女合唱団の３団体があり、月２～３回の練習を中心に発表会への参加などの活動を行っている。令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を中止した。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
少年少女合唱団育成事業費	１，５４０	９３

○公民館活動

・南加茂台公民館を中心に公民館講座を、東部交流会館を中心に市民講座・生涯学習講座を行う。令和２年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講座を中止した。

▶実施状況　（講座開設数）

	令和元年度	令和２年度
南加茂台公民館	２４	0
東部交流会館	２６	0

▶利用状況　（のべ人数）

	令和元年度	令和２年度
南加茂台公民館	２２，５６８	１３，８１５
庁舎北別館	１７，６０３	８，４３１
東部交流会館	２１，２７１	７，４７６
中央交流会館	４１，６５１	１７，９８８
西部交流会館	１７，５９８	９，８５７
瓶原公民館	２，１２６	４５２
山城文化センター	６３，３００	２１，５２３
加茂文化センター	４２，５９５	１３，４５２
当尾の郷会館	８，９３０	８，６９３

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
公民館事業費	３，１９７	２２
公民館管理／運営事業費	１０，１７３	１０，０５５
庁舎北別館管理事業費	２，０８９	３，５０３
交流会館運営事業費	３５，９１４	３６，９９５
山城文化センター管理運営事業費	５２，６１２	５３，７５９
加茂文化センター管理運営事業費	３５，８４０	３６，１３４
当尾の郷会館管理事業費	４，５４３	４，５１８

○図書館活動

・資料や情報の提供に重点を置き、図書の貸出を中心に、小学１年生に「としょかんスタートセット」の配布を行うなど、市民の図書館利用促進を図った。館内の展示ホール等で、各団体による絵画等の作品や、季節や時の話題をテーマにした資料の展示を実施した。本年度は、図書購入のための寄附があり、調べ学習に必要な資料、人気のあるシリーズ物や文庫など、広く資料を充実させることができた。

・新型コロナウイルス感染症感染予防対策として、図書除菌機や体表面温度測定器などを整備した。

▶実施状況　（冊）

		令和元年度	令和２年度
中央	年度末蔵書数	１４３，０００	１４５，０１３
	年間貸し出し冊数	３０２，８９１	２６１，３６５
	年間利用者数（人）	７８，１１１	６５，８１９
加茂	年度末蔵書数	７９，７５８	８３，７５８
	年間貸し出し冊数	１６０，３８８	１２９，１８６
	年間利用者数（人）	４１，８８９	３５，３１３
山城	年度末蔵書数	１０６，４９８	１０９，４３６
	年間貸し出し冊数	１３５，７６５	１１５，０９９
	年間利用者数（人）	３３，８１６	２９，７５０

▶事業費　（千円）

		令和元年度	令和２年度
中央	管理事業費	７，７８２	１５，４６９
	運営事業費	２８，９１０	４９，０９５
加茂	管理事業費	３，０８２	３，１４１
	運営事業費	１６，００１	２２，６４１
山城	管理事業費	３，７９２	４，０１５
	運営事業費	１４，１９７	２２，３７８

○社会教育施設管理事業

・小谷下教育集会所の解体及び跡地整備工事、中央交流会館外壁等改修工事、加茂文化センター舞台吊物改修工事など老朽化施設の改修や機能充実等に計画的に取り組んだ。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
施設管理事業費	６２，９７８	１３６，７７８

○生涯スポーツ・健康づくり

・スポーツ推進委員などと連携し、気軽に取り組めるニュースポーツの普及、高齢者などを対象とした健康増進や体力向上のための教室の開催など、生涯スポーツの振興、障害のある方も参加しやすい学習機会の拡充や環境整備に努めている。

○スポーツ推進委員事業
○社会体育振興事業

▶実施状況

	令和元年度	令和２年度
スポーツ推進委員活動回数	３５回	８回
スポーツ協会及びスポーツ少年団会員数（累計）	２，２１１人	２，０７３人

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
生涯スポーツ振興事業費	４２０	０
社会体育振興事業費	１１，２１９	８，０９５

○オリンピック聖火リレー事業

・東京２０２０オリンピック聖火リレーを木津川市内で実施するため、木津川市スポーツ協会と業務委託契約を結び、準備や啓発を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、令和３年度に延期となった。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
オリンピック聖火リレー事業費	８２９	１，６２１

担当課	社会教育課

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>安全対策の充実</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>○児童生徒の安心と安全を確保するための取組
・各小学校でインターホン、防犯カメラ、赤外線センサー等による機械警備を実施
・新入学児童への防犯ブザーの配布、自転車通学をする新入生徒へのヘルメット購入補助
・交通量の多い区域への学童誘導員の配置

▶事業費　（千円）
<table><tr><td></td><td>令和元年度</td><td>令和２年度</td></tr><tr><td>安全対策事業費</td><td>３，４７３</td><td>６，９０１</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>担 当 課</td><td>学校教育課</td></tr>
</table>

取　組　の　成　果　と　課　題

【成果】
◎生涯学習推進計画「きずなプラン」に基づき、市内の社会教育施設を拠点とした学習機会の場所の提供により、新型コロナウイルス感染症予防対策を実施しながら生きがいづくりや地域づくりを進めた。
◎家庭や地域の教育力を向上させるための事業に取り組み、社会総がかりで子どもを守り、育てる体制づくりを行った。
◎スポーツ推進委員と連携し、気軽に楽しめるニュースポーツの普及に向けた研修を行った。
◎平成３０年度の図書館利用者アンケートや地域要望に基づき、図書館運営の効率化とサービス向上を図るため、10 時開館を 9 時 30 分とした。また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、図書除菌機及び体表面温度測定機器等を整備し、図書館を安心して利用できる環境を整えた。
◎社会教育施設をより利用しやすい施設とするための整備として、公共施設等総合管理計画施設類型別個別施設計画に基づき、老朽化している施設の長寿命化を図り、利用しやすい施設整備と良好な施設維持管理を行った。

【課題】
◎参加者の固定化・高齢化が見られるため、新たな参加者を増やすために、事業のあり方や運営方法を検討し、改善を図る必要がある。
◎スポーツ指導者の育成を図るため、指導者研修会等の充実と積極的に参加できる体制づくりが必要である。
◎図書館施設の限られたスペースを有効活用し、より効率良く、豊富で魅力的な蔵書を揃えた書架づくりを行うことが必要である。
◎社会教育施設の多くが老朽化しており、建物・設備の経年劣化が見られる。

今　後　の　方　向　性

◎身近な学びの場となる社会教育施設間の緊密なネットワークをつくり、相互の交流や連携を図り、多様なニーズに応える幅広い学習機会を提供し、誰もが生涯学習、生涯スポーツにとりくみやすい環境づくりを行っていく。
◎地域の図書館として、市民にとって図書館がより身近で役立つ施設となるよう、図書館サービスのあり方の検討を進める。
◎利用者の安全性・利便性に影響あるものを優先的に、施設整備を進める。

重点目標８　地域を学び、郷土を大切にする心をはぐくむ

■施策の基本的方向と取組内容
(25) 自然・歴史についての学習の充実
　① 自然・歴史についての学習の充実
　② 文化・芸術活動の推進
(26) 地域資源の活用
　③ 木津川市ならではのネットワークの構築

■主な取組実績

<table>
<tr><td>取 組 名</td><td>自然・歴史についての学習の充実</td></tr>
<tr><td>取組内容</td><td>
○文化財担当職員による出前授業の実施

▶実施状況

	令和元年度	令和２年度
実 施 回 数	２１回	１回
参 加 人 数	９６３人	７８人

○指定等文化財修理等への補助金交付
・文化財の防犯防災事業及び保存修理事業に対して補助金を交付した。

▶実施状況　（補助金件数）

補 助 金 名	補 助 対 象 事 業
国指定文化財の保全修理事業補助金：３件	浄瑠璃寺阿弥陀如来坐像修理（５か年計画の３年目）　ほか
府指定登録文化財等に対する補助金：７件	大智寺本堂修理　ほか
国指定・府指定登録文化財の維持管理（防災設備保守点検など）：２２件	小林家住宅　ほか
未指定文化財等に対する補助金：１１件	高田寺絹本着色仏涅槃図修理　ほか

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
指定等文化財修理等補助事業費	１３，０１３	９，９５６

○文化財保護の啓発活動
・市内文化財愛護団体の活動に対する補助金交付
・史跡恭仁宮跡パンフレット増刷
</td></tr>
</table>

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
文化財保護啓発事業費	１，７０７	６１４

○遺跡・史跡の整備等
・高麗寺跡整備
中心部整備５か年事業の５年目。瓦積基壇周辺の植栽工事と芝生を設置。金堂・塔・講堂跡の説明板を製作設置した。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
高麗時跡整備事業費	２４，９４５	２５，７６２

○史跡等買上
・史跡指定地の保全を目的とした公有化の推進。
史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡）の第１種保存地区内の用地取得と移転補償を実施。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
史跡等買上事業費	２１，４６０	２０，１４７

○市内遺跡発掘
・「令和２年度木津川市内遺跡発掘調査報告書」を作成。
埋蔵文化財包蔵地での試掘調査を２件実施した。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
市内遺跡発掘調査事業費	１，５８３	３，７５７
発掘調査等公共事業費	４４	－

○発掘調査等受託
・令和元年度実施の上狛北遺跡第５次調査について、「上狛北遺跡第５次発掘調査報告書」を作成。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
発掘調査等受託事業費	１６２	２０７

担当課	文化財保護課

取組名	地域資源の活用
取組内容	○地域の文化財資料調査活用 ・令和２年４月１日に令和２年度国宝重要文化財等保存・活用事業費「（現光寺・大智寺）史料地域活性化のための特色ある文化財調査・活用事業」に採択された５年計画の３年目事業。 現光寺・大智寺の調査を実施した。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
地域の文化財資料調査活用事業費	３，０８９	３，１３１

○歴史文化基本構想策定
・構想策定にかかる４年計画の３年目として、文化財悉皆調査等を実施した。また、文化財保存活用地域計画策定業務を委託した。

▶事業費　（千円）

	令和元年度	令和２年度
歴史文化基本構想策定事業費	１，６９３	２，３６４

○木津川市ふれあい文化講座
・コロナ感染防止のため中止。

▶実施状況　（人）

	令和元年度	令和２年度
講座参加者数	４８４	―

○くにのみや学習館（木津川市文化財整理保管センター分室）
・史跡恭仁宮跡をはじめ、本市の豊富な歴史・文化遺産の魅力を発信する拠点施設で、恭仁宮の再現 DVD の上映や発掘調査などにより出土した瓦や土器等の展示等を行っているほか、恭仁宮及び市内観光関連パンフレットを配架している。
運営は瓶原まちづくり協議会に委託している。

担当課	文化財保護課

取組の成果と課題

【成果】
◎コロナ禍においても感染対策を徹底しながら地域の歴史・文化財についての出前授業を通じて、郷土の歴史と文化財啓発を実施できた。

【課題】
◎郷土愛を育むためには、地域の歴史・文化財を十分に伝え、地域資源を活用する取組の一層の強化が必要。

今後の方向性

◎本市の歴史・文化財についての出前授業を通じて、地域の歴史と貴重な文化財を学ぶ機会の充実を図る。

Ⅳ．資料

教育委員会事務局

（１）所在地　　京都府木津川市木津南垣外110番地9

郵便番号　619-0286

電　　話　（0774）72-0501 ㈹

学校教育課　（0774）75-1230　（直通）

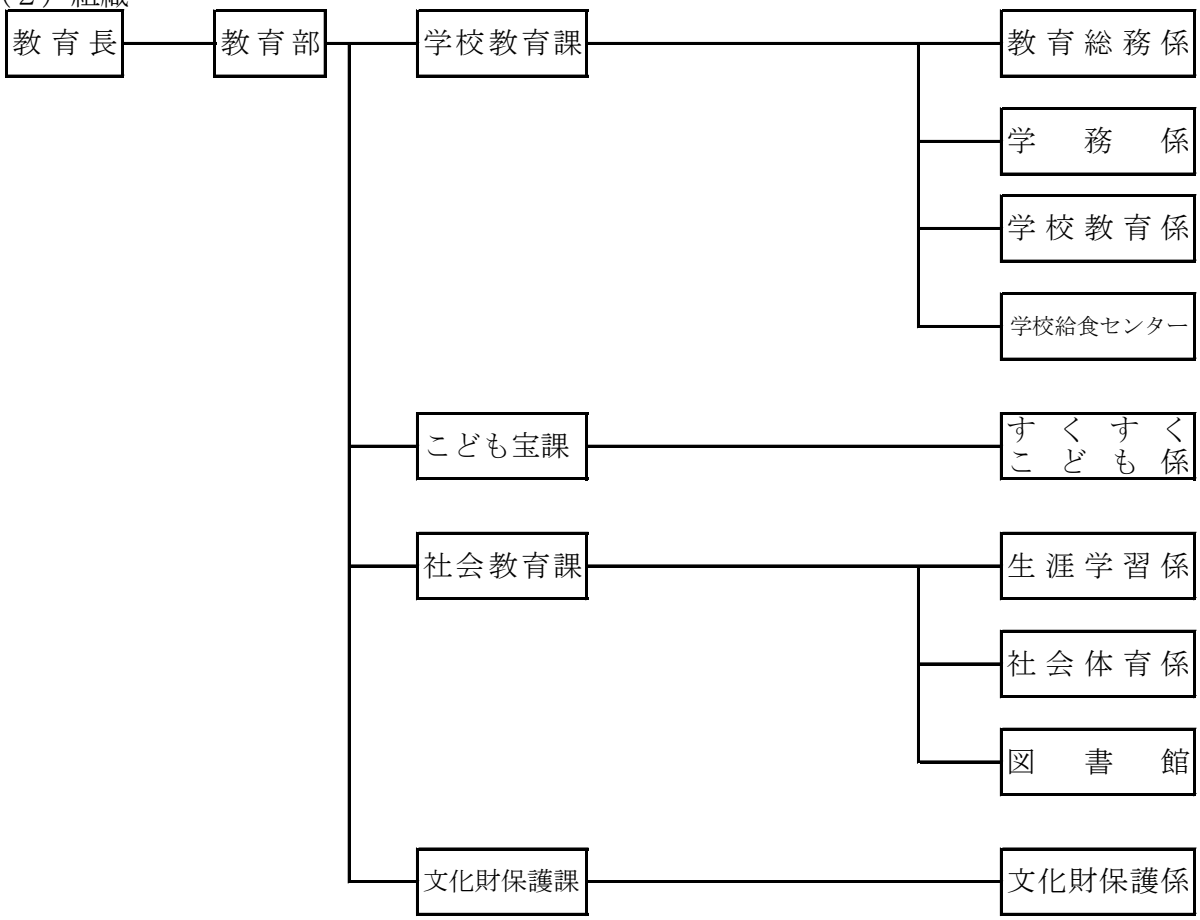
こども宝課　（0774）75-1212　（直通）

社会教育課　（0774）75-1233　（直通）

文化財保護課　（0774）75-1232　（直通）

ＦＡＸ　（0774）73-2566　（0774）75-2083

（２）組織



(3)職員配置(令和2年4月1日現在)

教育長　　1名
教育部長　　1名
教育部理事　　2名
教育部次長　　1名

課名等	課長	課長補佐	係名等	係長	係員	
学校教育課	課長1 担当課長2 主幹3	1	教育総務係	1	担当係長	1
					主任	2
					主事	3
			学務係	1	主事	3
			学校教育係	1	主事	1
			学校教育指導主事		会計年度任用職員	5
			外国語指導助手		会計年度任用職員	3
			適応指導教室		会計年度任用職員	1
			学校安全対策指導員		会計年度任用職員	1
学校給食センター	所長(1)		第一学校給食センター		主任	1
					会計年度任用職員	1
	所長(1)		第二学校給食センター		会計年度任用職員	2
小学校13校						
中学校5校						
こども宝課	課長(1) 担当課長1	1	すくすくこども係	1	担当係長	1
					主任	2
					主事	3
					調理師	1
					主任専門員	1
木津幼稚園	園長1	教頭1			教諭	5
					会計年度任用職員	6
相楽幼稚園	園長1	教頭1			教諭	4
					会計年度任用職員	6
高の原幼稚園	園長1	教頭1			教諭	7
					会計年度任用職員	8
保育園7園						
社会教育課	課長1 担当課長1 主幹1	1	生涯学習係	1	主任	1
					主事	2
					会計年度任用職員	2
			社会体育係	1	担当係長	1
					主査	1
図書館	館長(1)		中央図書館	1	主査	1
					会計年度任用職員	9
			加茂図書館		主査	1
					会計年度任用職員	8
			山城図書館		担当係長	1
					会計年度任用職員	7
加茂文化センター						
山城総合文化センター						
中央交流会館						
西部交流会館						
東部交流会館	館長(1)				主任専門員	1
			社会教育指導員		会計年度任用職員	1
南加茂台公民館	館長(1)				主任専門員	1
瓶原公民館						
加茂青少年山の家						
加茂青少年センター						
当尾の郷会館						
中央体育館	館長(1)				主任専門員	1
市民スポーツセンター						
加茂体育館						
やすらぎタウン山城プール						
文化財保護課	課長1	1	文化財保護係	(1)	主任	2
					主事	1

※( )内は兼務職員数

事務分掌

ア　学校教育課

教育総務係
①　教育委員会及び教育部の庶務に関すること。
②　教育委員会の会議に関すること。
③　教育委員に関すること。
④　公印の保管に関すること。
⑤　教育委員会の基本的政策の企画立案及び総合調整に関すること。
⑥　公文書の保管その他文書に関すること。
⑦　表彰、叙勲及び寄付受納に関すること。
⑧　京都府教育委員会その他関係機関との連絡調整に関すること。
⑨　教育委員会の職員（府費負担教職員を除く。）の人事、給与、福利厚生等に関すること。
⑩　教育委員会規則等の公布等に関すること。
⑪　教育委員会所掌に係る歳入歳出予算及び決算に関すること。
⑫　教育費の調査及び統計に関すること。
⑬　後援申請に関すること。
⑭　教育委員会に係る教育行政の相談に関すること。
⑮　市立小学校、中学校等に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
⑯　市立小学校、中学校等の施設台帳に関すること。
⑰　市立小学校、中学校等の施設に係る調査に関すること。
⑱　市立小学校及び中学校の施設整備に関すること。
⑲　市立小学校及び中学校の施設の備品管理に関すること。
⑳　市立小学校及び中学校の使用許可に関すること。
㉑　市立小学校及び中学校の施設の国庫支出金及び府支出金に関すること。
㉒　学校教育課の所管となる施設の企画立案、設計計画等に関すること。
㉓　公用車の管理に関すること。
㉔　教育部における他の課に属さない事項等の処理に関すること。
㉕　課の庶務に関すること。

学務係
①　学校の組織編成に関すること。
②　通学区域に関すること。
③　児童生徒の安全に関すること（通学路を含む。）。
④　学齢簿の編成及び整備に関すること。
⑤　児童生徒の就学並びに入学、転学及び退学に関すること。
⑥　児童生徒の就学猶予又は免除に関すること。
⑦　児童生徒の指定学校の変更及び区域外就学に関すること。
⑧　市立小学校及び中学校に係る予算・決算の執行管理に関すること。
⑨　就学時健康診断に関すること。
⑩　府費負担教職員の人事、給与等に関すること。
⑪　府費負担教職員の研修に関すること。
⑫　市立小学校及び中学校の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑬　所掌に係る調査及び基幹統計に関すること。

⑭ 児童クラブの施設整備及び運営に関すること。
⑮ 児童クラブ使用料の賦課及び調定に関すること。
⑯ 児童クラブ使用料の徴収、滞納対策等に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)。
⑰ その他学務に関すること。

学校教育係
① 児童生徒の保健及び健康診断に関すること。
② 教育課程及び学習指導に関すること。
③ 人権教育、特別支援教育等に関すること。
④ 人権教育等の教育関係補助金に関すること。
⑤ 教育支援委員会に関すること。
⑥ 教科書採択及び教科書無償給与に関すること。
⑦ 市立小学校及び中学校の教材備品の管理及び取扱いに関すること。
⑧ 学校医、学校歯科医及び学校薬剤師に関すること。
⑨ 外国語指導助手に関すること。
⑩ 学校評議員及びスクールボランティアに関すること。
⑪ 就学奨励費に関すること。
⑫ 就学援助に関すること。
⑬ 育英資金・高等学校奨学金に関すること。
⑭ 教育相談に関すること。
⑮ 児童・生徒の基礎学力向上に関すること。
⑯ その他学校教育に関すること。

学校給食センター
① 学校給食センターの施設整備及び運営に関すること。
② 学校給食に関すること。

イ こども宝課

すくすくこども係
① 子どものための教育・保育給付に関すること。
② 子育てのための施設等利用給付に関すること。
③ こども政策に関すること。
④ 子ども・子育て会議に関すること。
⑤ 特定教育・保育施設、特定地域型保育事業者、特定子ども・子育て支援施設等の確認に関すること。
⑥ 教育・保育認定に関すること。
⑦ 保育施設及び保育事業の利用調整に関すること。
⑧ 市立幼稚園児の入退園に関すること。
⑨ 特定教育・保育施設の利用者負担額の決定等に関すること。
⑩ 保育所及び市立幼稚園の利用者負担額の徴収及び収納に関すること(ただし、収納担当課が取扱うものを除く。)。
⑪ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業等への指導監査に関すること。
⑫ 保育所、認定こども園及び家庭的保育事業等事業者への助成に関すること。
⑬ 保育所、認定こども園、家庭的保育事業所及び小規模保育事業所の整備に関すること。

⑭ 家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業の認可に関すること。
⑮ 市立幼稚園の設置及び廃止に係る事務に関すること。
⑯ 市立幼稚園の通園バスに関すること。
⑰ 私立幼稚園の補助に関すること。
⑱ 市立保育所及び市立幼稚園の施設整備及び運営管理に関すること。
⑲ その他幼児教育・保育に関すること。

ウ 社会教育課

生涯学習係
① 社会教育の総合企画及び調整に関すること。
② 社会教育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
③ 公民館、交流会館及びその他社会教育施設の施設整備及び運営に関すること。
④ 社会教育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ 社会教育委員及び公民館運営審議会に関すること。
⑥ 社会教育活動の奨励に関すること。
⑦ 青少年教育、成人教育、女性教育、高齢者教育、人権教育、障害者教育及び家庭教育に関すること。
⑧ 社会教育関係団体の指導育成及び援助に関すること。
⑨ 文化・芸術の振興に関すること。
⑩ 成人式に関すること。
⑪ 学校と社会教育との連携に関すること。
⑫ 社会教育に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑬ 生涯学習の総合企画及び調整に関すること。
⑭ 生涯学習関係団体との連絡調整に関すること。
⑮ 教育ボランティア及び指導者の育成に関すること。
⑯ 生涯学習に係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑰ 生涯学習相談に関すること。
⑱ 国際交流に関すること。
⑲ その他生涯学習推進に関すること。
⑳ 課の庶務に関すること。

社会体育係
① 体育・スポーツの総合企画及び調整に関すること。
② 社会体育施設に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
③ 社会体育施設の施設整備及び運営に関すること。
④ 社会体育施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ スポーツ推進委員に関すること。
⑥ 体育・スポーツ及びレクリエーションの奨励に関すること。
⑦ 社会体育事業の企画立案及び運営に関すること。
⑧ スポーツ指導者の育成に関すること。
⑨ 社会体育関係団体の指導者育成及び援助に関すること。
⑩ 体育・スポーツ及びレクリエーションに係る資料の収集・提供及び広報活動に関すること。
⑪ スポーツ相談に関すること。

⑫ 学校体育施設の開放事業に関すること。
⑬ その他社会体育に関すること。

図書館
① 図書館の総合計画及び調整に関すること。
② 図書館協議会に関すること。
③ 図書館に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④ 図書館施設の施設整備及び運営に関すること。
⑤ 図書館施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑥ 図書館事業の企画立案及び運営に関すること。
⑦ 図書館資料の収集、整理及び保存に関すること。
⑧ 図書館資料の貸出し及び返却に関すること。
⑨ 図書館資料の利用相談に関すること。

エ 文化財保護課

文化財保護係
① 文化財関係総括に関すること。
② 文化財関係計画の立案に関すること。
③ 文化財に係る財産の取得管理及び処分並びに財産管理台帳に関すること。
④ 文化財保護課の所管となる施設の企画立案及び設計計画等に関すること。
⑤ 文化財関係施設の整備運営に関すること。
⑥ 文化財保護審議会等に関すること。
⑦ 文化財所有者及び保護団体に関すること。
⑧ 文化財保護関係機関との連絡調整に関すること。
⑨ 文化財の収集、調査及び研究に関すること。
⑩ 文化財の保存及び活用に関すること。
⑪ 講演会、研究会及び展示会等の開催に関すること。
⑫ 文化財資料の利用者に対する情報提供等に関すること。
⑬ 文化財補助金に関すること。
⑭ 市史編さんに関すること。
⑮ その他文化財の管理調査に関すること。
⑯ 課の庶務に関すること。

Ⅴ. 有識者総評

○全体

・　令和２年度の特徴は昨年度までとは大きく異なり、新型コロナウイルス感染症の中での事業展開となったことである。事業の縮小・中止はやむを得ないが、子どもから大人まで、困難であっても人とのつながり・交流を大切にし、各部局が連携し知恵を出し合い、感染予防対策を講じる中で、それに代わる取組を工夫することも重要であると考える。

○重点目標１

・　学力の充実向上に向けた取組において、子どもの実態把握はもちろん、学習の習慣化にむけ、各学校で作成されていた「家庭学習の手引き」を活用しつつ、特に家庭との連携に着目して保護者への啓発、生活習慣の確立を目指す取組を更に推進することが重要と考える。また、今後は家庭学習をサポートするツールとして、タブレットを活用したデジタルドリル学習に取り組まれることを願う。

○重点目標２

・　コロナ禍により子ども同士の関わりが学校や地域で少なくなる中、悩みや家族の問題などを抱え込んだり、様々な不安を感じたりしている幼児・児童・生徒が増加しているように思われる。心の教育相談員やスクールカウンセラー等の派遣を市内の全学校に行い、日常的に相談できる体制を図り、クラスの多い学校には相談機会を増やす等、不登校・いじめ等の早期発見、早期支援につなげていくことが重要である。

・　読書活動の推進に向けては、学校図書館司書の活用を図ることこそ、自ら学習や生活を豊かにしていく力を育むおおきな力になると考える。また、市立図書館と密接に連携し合い、子ども自ら ICT 機器等を活用して市立図書館のホームページ（子ども用の検索サイト）を開き、自らが図書を調べることにより、更なる読書への興味・関心につながると考える。学級で借りる団体貸し出し（学級文庫として１回 100 冊）の利用も有効と考える。

○重点目標３

・　学校給食については、安心安全、且つ安定的な提供体制の継続が最重要課題である。令和２年度からの新センターの稼働に併せて、２センター体制での統一献立の実施やアレルギー対応についても統一され、地元産青果使用も進んでいる。給食は適切な栄養摂取にとどまらず、食育の観点からも非常に重要な役割を果たすことから、引き続き学校給食センターと学校と市教委とが連携して事業を進められたい。

○重点目標４

・　家庭の教育環境（ヤングケアラーも含む）、経済的状況に左右されることなく、幼児・児童・生徒が、園・学校に魅力を感じ、生きる意欲につながる具体的方策を今後も各部局が連携し合い取り組むことが必要である。同時に、幼小中との更なる連携が必要であると考える。

○重点目標５

・　ICT 機器の整備に伴い、市内全児童・生徒にタブレットを購入し、学校での活用推進へ向け支援計画を始められたことは大いに評価できる。教室だけでなく広く校外での地域学習の中で写真や動画での記録等幅広い活用が期待できる。ICT 機器が様々な学びの中で幅広く活用され、課題解決に向けての取組が進むことを期待する。それに加え、各校に機器のトラブルに即対応できる ICT 担当職員の配置とそれに伴う機器の充

実、情報リテラシー、特に情報モラルの徹底が益々必要となってくると考える。

○重点目標６、７

・　魅力ある・信頼される学校・園づくりは、地域の力を活かして子どもを育むことと密接な関係がある。各校のホームページや学校便り等で学校の様子を地域に発信されているが、一層、積極的に展開することにより、地域の学校に対するより豊かな理解につながり、協力体制も強化できると考える。また、最近多発している自然災害などにおける危機管理体制の構築にも、早急につなげていくことが必要と考える。
・　子どもたちの健全な成長のためには、地域総がかりで見守りが欠かせない。通学の安全確保や放課後の安全な遊び場の提供、また学校運営においても地域住民の力と意見を活かす多角的な支援により、子どもたちの成長に豊かな影響を与えられると考える。また、地域が子どもたちにとって安心・安全な居場所となっていくと考える。
・　人が生涯を通して心身共に健康に過ごすためには、それぞれの世代やニーズに対応するようなスポーツ活動や文化活動ができる機会の提供が必要である。様々な講座の開催や関係団体との連携とともに適切な情報発信を行い、市民の学習環境を更に充実するよう努められたい。
・　市立図書館の開館時間を早めたことは、利用者の利便性の向上につながり評価できる。各校の実態に応じ、学校図書館司書などと市立図書館司書との連携を更に進めていくことが必要と考える。

○重点目標８

・　京都市に次ぐ多くの文化財を有する木津川市において、文化財保護課職員が行っている学校への出前授業は、地域の文化財を学ぶ場としても定着し、その広がりに期待すると同時に、学校との連携を更に進めていくことが大切である。また、市の文化財愛護団体等とも連携し、文化財を通して、ふるさとの良さを知ることの素晴らしさを地域住民と共に体験できる取組を行うことも大切と考える。
・　最近文化財の修理修復等が新聞によく取り上げられており、本市においても古文書の整理、調査、デジタル記録化の取り組みが推進されている。本市の素晴らしい文化財の活用に向け、文化財保存活用地域計画の策定に期待する。